

つながろう

NIPPON



2011年4月4日 No. 13

東日本大震災 連合救援ニュース

被災者の皆さまに心からお見舞い申し上げます。

発行 連合災害対策救援本部

電話 03-5295-0539 FAX 03-5295-0547 soshiki@sv.rengo-net.or.jp
日本労働組合総連合会(連合) <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

お知らせ

東北地方太平洋沖地震がもたらした災害の呼称を「東日本大震災」とすることが、4月1日閣議決定されたことに伴い、本ニュースの名称を今号より「東日本大震災・連合救援ニュース」と改めました。

1. 古賀会長 福島などを激励訪問(速報)

連合の古賀会長は、4月2日と3日の両日、宮城県および福島県への激励訪問を行いました。4月2日には、佐藤福島県知事と会談し、救援ボランティアの派遣など連合の取り組みについて報告し「県の復興に協力すると」と約束しました。その後、相馬、翌3日には石巻と気仙沼を訪れ、ボランティアセンターや被災地現場でボランティア活動に従事する連合救援ボランティアの仲間たちを激励しました。



佐藤知事(右)と会談する古賀会長



ボランティア活動現場視察(相馬)



ボランティア活動現場視察(石巻)

2. 救援カンパ 8千万円を超える (4月1日現在)

連合本部は、3月14日に緊急三役会を開き、被災された自治体や被災者への給付金として「連合救援カンパ」活動に取り組んできました。4月1日現在で、構成組織(10件)、地方連合会(20件)、海外の労働組織等9件、その他団体・個人、連合本部事務局、街頭募金から、合計8071万9049円のカンパ金が集まりました。今後も「救援カンパ」の取り組みは継続してまいります。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

3. 連合救援ボランティア 本格始動

3月31日午前東京・連合本部を出発した岩手、宮城、福島各派遣隊第一陣は、それぞれ無事に現地に到着しました。

このうち岩手チームは、17時に中継地点である盛岡駅前広場に到着。その場で連合岩手による受け入れ集会被催されました。集会では、砂金・連合岩手会長、岩手県社会福祉協議会・菅原課長からのあいさつに続いて、連合本部を代表して生澤総合国際局長、UIゼンセン同盟、自治労、日教組、基幹労連の各代表が決意表明を行いました。集会後、宮古、東和チームに分かれてベースキャンプに向かいました。

以下は東和ベースキャンプに到着した自治労責任者・佐藤青年部長からの報告です。

「バスは時刻表どおりでした。布団は、ちゃんとした物があり、支給されたのは掛け布団、敷き布団、シーツ、毛布 2 枚です。暖房が入っているので寝袋はいりません・・・装備品としては、軍手、ゴム手袋、マスク、防塵マスク、ゴーグル、ヘルメット、ホッカイロがあります。生活用品として、タオル、バスタオル、ちり紙、ファブリーズなどあります。長靴以外は、ほとんど必要なかったようです。明日は、大槌の泥出し作業です。」



盛岡駅前広場での連合ボランティア受入集会(3月31日)

以上